

【渉外・広報室方針】

室長予定者 鈴木 信輝

名古屋青年会議所は、常に高い志と熱い情熱を併せ持った会員の資質向上に取り組む規律ある組織であると共に、能動的に市民意識を変革する品格を備えた青年経済人が集う課題解決集団であり続けなければならない。また、会員は運動の意義や目的を正しく認識し、市民意識変革の気概を持って運動を発信し、市民がまち・国づくりの当事者として行政や専門家、民間諸団体と未来を語り、共に関わり合う機会を創出し続けていく必要がある。

まずは、青年会議所運動の意義と目的を正しく会員に伝達し運動を力強く推進していくために、日本青年会議所や東海地区及び愛知ブロック協議会と連携・調整を図り、各地青年会議所との交流を通して我々のネットワークを強化し、対外統括窓口として円滑な運営を行う。そして、名古屋青年会議所の代表である出向者が発刺と活躍するために、諸会議・大会に積極的な会員の参加を促進すると共に、出向者に心を寄せた支援を行う。さらに、会員が意欲的に活動へ参加し運動の成果を最大限発揮するために、会員にとって魅力的で実用性のある対内広報を実施する。また、名古屋青年会議所が市民意識を変革する崇高な団体であり続けるために、運動の意義と自らのJC観を確立し、組織の規律と一体感を高め、自身の品格を養う機会となる会員資質の向上を図る事業を実施する。そして、市民が当事者意識を持ってまち・国づくりに積極的に参画していくために、当青年会議所が持つ有機的なつながりを活用し、市民と行政や大学、政治家や民間団体がまち・国づくりについての課題を共有し、誰もが理想を語り合える基盤を創出し、発信する例会を開催する。

規律を正し品格を高めた会員一人ひとりが、英知と滾る情熱を胸に崇高な志を掲げ勇猛果敢に運動を巻き起こし、未来を創り上げる当事者意識が芽生えた市民と一致団結してまち・国づくりに参画する、「すべての人が夢に向かって躍動するまち名古屋」を創造する。

渉外委員会方針

委員長予定者 澤木 信男

名古屋青年会議所は、規律を厳守し品格を兼ね備えた青年経済人が集う、誇り高き課題解決集団でなければならない。そこで、名古屋青年会議所が、運動に専念できる環境を創り出し、会員一人ひとりが常に高い志と熱い情熱を持ち、運動に邁進し続ける必要がある。

まずは、我々の運動を円滑かつ力強く推進し、運動の効果を最大限に発揮するために、対外統括窓口として、日本青年会議所や東海地区及び愛知ブロック協議会と連携・調整を図り、各地青年会議所と迅速かつ正確な情報交換を行い、名古屋青年会議所を支えるという気概を持った渉外活動を行う。そして、出向者が、名古屋青年会議所会員である誇りを持ち出向先で躍動するために、全会員に諸会議・大会の意義と目的を伝え積極的な参加を促すと共に、一人ひとりに心を寄せた出向者支援を行う。さらに、会員一人ひとりが規律を守り自らの品格を高め、大志と情熱を育むために、運動の意義を学び自らのJC観を確立する会員資質の向上を図る事業を実施する。

すべての会員が、規律と品格を兼ね備えたJAYCEEとして、崇高な志を抱き、足並み揃えた運動に邁進し続け「すべての人が夢に向かって躍動するまち名古屋」を創造する。

広報委員会方針

委員長予定者 長村 明子

名古屋青年会議所は日本有数の会員規模を誇りながらも、会員の活動に対する参加率は未だに伸び代が十分にあり、組織として大きなポテンシャルを秘めている。我々は規律ある組織の一員として、会員が持つ力を高めながら、組織の一体感を育んでいく必要がある。

まずは、会員一人ひとりが運動の意義や目的を理解し、一人でも多くの会員が自発的に活動へ参加するために、会員にとって実用的かつ魅力的な広報誌を発行すると共に、SNS等を用いて状況に応じた親しみやすい情報伝達による対内広報活動を行う。そして、組織の一体感を醸成するために、有用な情報を網羅したポケット名簿を作成する。さらに、会員が創造する運動を正しく会員へ伝えるために、ホームページとレンタルサーバーを適正に管理

する。また、会員が地域のリーダーとして市民意識を変革する人財へと成長するために、会員資質の向上を図る事業を実施する。そして、1年間の運動を次代へ継承するために、活動成果をまとめた会報を作成する。

全会員が運動の意義と目的を理解し、地域のリーダーとして成長した会員が一丸となり人の心を動かす運動を拡げ「すべての人が夢に向かって躍動するまち名古屋」を創造する。

まち・国づくり参画プラットフォーム創造委員会方針

委員長予定者 山本 洋一

まち・国づくりにはすべての市民が関わっていかなければならない。我々は行政や大学等とのパイプを生かして人々に自身の暮らしに対する多角的な議論を促し、多くの声を集めて行政に提言する環境を構築し、まち・国づくり参画の重要性を伝えていく必要がある。

まずは、市民にまち・国づくりへの参画を促すための仕組み作りを学ぶために、全国の先進事例について調査研究する。そして、市民が気軽にまち・国づくりについて議論できるようにするために、有識者が論点を整理し、インターネット等も介していつでも誰でも議論に参加できる「まち・国づくり参画プラットフォーム」を創設する。さらに、幅広い人々を巻き込むために、行政・大学関係者や政治家ら専門家と市民が集い、論ずるべきテーマについて本音で議論し、プラットフォームの意義と有効性を広く発信する例会を開催する。また、市民の声を自治体や国の政策に反映させるために、プラットフォームを通じて集めた意見を政策に集約し行政に提言する。

名古屋市民がまち・国づくりに積極的に関わるようになり、プラットフォームから新たなビジョンや政策が生まれ「すべての人が夢に向かって躍動するまち名古屋」を創造する。

【地域連携室方針】

室長予定者 荒尾 政弘

人の集合体であるまちの課題解決には、そこに住まう市民自身の力が欠かせない。課題先進国である日本には、周囲の支えが失われつつある中で子育てをすることの親の負担増や、家庭環境によって拡大する子供の教育格差が、将来の国力をも左右する重要な課題として存在している。そこで、育児に関する負担が自分らしい生き方の制約とならず、子供の将来の可能性を奪う教育格差が生まれぬ社会を地域ぐるみで創造していく必要がある。

まずは、経済格差の拡大を助長する教育格差の解消を推進するために、激しく変化していく社会の中で、子供が自らの可能性を拓げるために必要な教育を受けられることの重要性と、家庭環境によって受けられる教育の差を補う仕組みを、地域に作り広めていくことの必要性を発信する例会を開催する。そして、家庭環境によって受けられる教育の差を解消するために、地域ぐるみで支え合う仕組みを創出することによって、机上の学問のみならず、子供が心身共にたくましく育つために必要な教育を受けられる事業を実施する。さらに、子供を育てる喜びが自分らしく生きることの一部として捉えられる社会を実現するために、地域ぐるみの支え合いによって親の抱える不安を解消すると共に、実生活における負担を軽減することのできる新たな育児支援のあり方を確立する事業を実施する。また、育児が人生の負担と捉えられることのない社会を実現していくために、市民が支え合うのみならず、地域を形成する一員である企業のサポートを促すと共に、行政との連携を強化し、地域が一丸となった育児支援体制を実現していく重要性を発信する例会を開催する。

地域の支え合いの中で、育児が人生における負担ではなく、自分らしい生き方の一部として捉えられ、可能性を秘めた子供たちが自らの可能性を開花させるために必要な教育を等しく受けることのできる「すべての人が夢に向かって躍動するまち名古屋」を創造する。

地域で支える育児支援社会確立委員会方針

委員長予定者 梅本 昌裕

核家族化や地域のつながりの希薄化によって、育児に関する負担を家庭内で抱え込んでしまう親が増加している。そこで、育児を生活していく上での負担ではなく、自分らしく生きていく中での喜びと思えるように、地域ぐるみの支援体制を確立していく必要がある。

まずは、家庭における育児に関する課題を把握するために、育児中の親にヒアリングを行うと共に、行政の取り組みを調査する。そして、親が自分らしく生きる中で、育児を負担ではなく喜びとして捉えることのできる社会を実現するために、行政や地域の育児支援団体と連携しながら、地域の支え合いによって親の育児不安を解消すると共に、実生活における負担を軽減することのできる事業を実施する。さらに、育児が人生の負担と捉えられることのない社会を実現していくために、市民同士が支え合うだけでなく、企業のさらなるサポートを促し、行政との連携を一層強化することで、地域が丸となった育児支援体制を築く重要性を発信する例会を開催する。

地域の支え合いの中で、子供を育てる親としての喜びが、自分らしく生きる上での幸せとして感じることで「すべての人が夢に向かって躍動するまち名古屋」を創造する。

教育格差解消推進委員会方針

委員長予定者 神谷 昭一郎

親の意識や経済力などの家庭環境における格差が、子供たちの将来の可能性を狭めてしまう教育格差を生んでいる。まちを形成する市民一人ひとりが、行政や家庭の責任にするばかりではなく、主体的に子供の教育を支えていく体制を地域ぐるみで整える必要がある。

まずは、教育格差の原因と対策を把握するために、世帯収入と学力の関係性などを調査し、行政などが対策として行っている取り組みを研究する。そして、経済格差拡大の温床となる教育格差の解消を推進するために、市民の教育に対する意識を高め、子供が自らの可能性を拓げるために必要な教育を受けられることの重要性と、家庭環境によって受けられる教育の差を補う仕組みを構築していく必要性を発信する例会を開催する。さらに、家庭環境によって子供が受けられる教育の格差を解消するために、地域ぐるみで支え合う仕組みを作ることによって、子供たちが机上の学問だけでなく、心身共にたくましく育つために必要な教育を受けられる事業を実施する。

無限の可能性を秘めたすべての子供が、自らが望む姿に成長していく際に必要な教育を等しく受けることのできる「すべての人が夢に向かって躍動するまち名古屋」を創造する。

【新たな意識確立室方針】

室長予定者 三輪 大介

人間の持つ多様性に対する理解不足から様々な誤解や偏見が生み出され、自分と違った特徴や価値観を持つ者を受け入れようとする姿勢を阻む障壁となっている。そこで、人の持つ違いを否定的に遠ざけようとするのではなく、個性として肯定的に受け入れられるように、日本人として受け継いできた精神性をバージョンアップさせると共に、互いを思いやりながら立ち居振る舞うことのできるモラルとして、新たな意識を確立する必要がある。

まずは、一人ひとりの違いを個性として肯定的に受け入れ、多様性を尊重できる社会を実現するために、人の持つ違いを否定的に捉えて遠ざけるのではなく、互いの特性を正しく理解した上で協働していくことの必要性を発信する例会を開催する。そして、すべての人が違いを肯定的に捉えるのみならず、個性として尊重し合える意識を育むために、様々な違いを持つ人たちが集い、それぞれが互いに対する理解を深めると共に、人の持つ違いは自分にはない個性であることを実感することのできる事業を実施する。さらに、インターネットを介したトラブルを減少させるために、良識に基づいたリテラシーを大人が身につけることの重要性と、それをネットモラルとして子供たちに教えていくことの必要性を発信する例会を開催する。また、子供たちがインターネットを適正に利用することができる環境を整えるために、道徳をベースとした教育プログラムを作成し、仮想空間の向こう側に実在する相手のことを思いやる心を育むことで、過度な規制に守られるのではなく、子供たち自身が善悪を判断していくことのできるモラルを身につけられる事業を実施する。

互いを思いやることのできる精神性が新たな時代に求められるモラルとして確立され、相互理解を深めた市民一人ひとりが、人の持つ違いを個性として肯定的に受け入れ、多様性を尊重することのできる「すべての人が夢に向かって躍動するまち名古屋」を創造する。

ダイバーシティ確立委員会方針

委員長予定者 鶴飼 伸弥

障がい者や性的マイノリティに対する理解不足から様々な誤解や偏見が生まれ、その違いを受け入れることを難しくしている。そこで、自らと違う者を否定的に遠ざけるのではなく肯定的に受け入れ、人間の多様性を尊重することのできる意識を確立する必要がある。

まずは、障がい者や性的マイノリティに対する理解不足が、社会の中でどのような障壁を築いているのか把握するために、名古屋市や関係諸団体・施設・企業に聞き取り調査を行う。そして、一人ひとりの違いが個性として肯定的に受け入れられ、その多様性が尊重される社会を実現するために、自らと違う者を否定的に遠ざけるのではなく、互いの特性を正しく理解した上で共に生き、協働していくことの必要性を発信する例会を開催する。さらに、互いの理解を尊重し合える関係にまで高めるために、様々な違いを持つ者が集い、それぞれが互いに対する理解を深めると共に、人の持つ違いは自分にはない個性であることを実感することのできる事業を実施する。

互いを正しく理解し合い、人の持つ違いが個性として肯定的に受け入れられ、誰もが多様な人財として尊重される「すべての人が夢に向かって躍動するまち名古屋」を創造する。

ネットモラル確立委員会方針

委員長予定者 服部 大

インターネットの使い手である人間のモラルが、情報社会の目まぐるしい変化に追いついていないことによって、様々な形での問題が発生している。そこで、社会に根づいた良識として、インターネットの適正な利用に求められるネットモラルを確立する必要がある。

まずは、市民のネットモラルに関する意識を把握するために、家庭や学校だけでなく、企業の取り組みについて調査を行う。そして、インターネット上のトラブルを減少させるために、良識あるリテラシーを大人が身につけることの重要性と、それをネットモラルとして子供たちに教えていくことの必要性を発信する例会を開催する。さらに、子供たちがインターネットを適正に利用できる環境を整えるために、道徳をベースとした教育プログラムを作成し、目の前にはいなくとも確かに存在する相手のことを思いやる心を育むことで、大人による規制に守られるのではなく、子供たち自身が善悪を判断していくことのできるモラルを身につけられる事業を実施する。

道徳を根幹としたネットモラルが確立され、良識あるリテラシーに基づいて、適正にインターネットが利用される「すべての人が夢に向かって躍動するまち名古屋」を創造する。

【NAGOYAの人財育成室方針】

室長予定者 林 宏和

NAGOYAは、数多くの恵まれた条件と魅力を兼ね備えた国際都市であるにもかかわらず、市民はまちの魅力に気づかず、誇りを持っていない。また、排他的や閉鎖的ともいわれる思想や気質を持ち合わせていることで、海外との積極的なビジネス交流や異文化交流ができていない。そこで、NAGOYAが国際都市として世界中に認知されるには、世界と名古屋、それぞれの特色や課題を深く理解した、世界で躍動できる人財が必要である。

まずは、NAGOYAの魅力を再認識するために、我々が有するネットワークを活用し、世界から見た名古屋の特色や課題などの現状を調査し把握する。そして、同じ時代を生き抜く同志として対等に渡り合える国際人を育成するために、未来を担う名古屋の若者と海外の若者が共に、各々の未来のあるべき姿について考える人財育成プログラムを実施する。さらに、会員の国際感覚を醸成するために、ASPACや世界会議等の諸大会において、各国のJAYCEEを招き国際交流の場を提供する。また、世界で戦える経済人を発掘するために、我々と行政が連携し、起業を夢に描いているあらゆる立場の人へ公募の告知を行い、ビジネスモデルを公募する。そして、本来の日本型経営である公益資本主義の概念を持ち、世界でも通用するビジネスモデルを創出するために、参加者より募ったビジネスモデルを専門家との協議により定めた基準に基づき、選考会を実施する。さらに、選考会で選ばれた参加者のビジネスモデルをより具現化するために、世界で活躍している専門家や教授を講師として招き、青年経済人としてあるべき起業家の姿へと導く支援を行う。

国際都市NAGOYAのまちの魅力を再認識し、誇りを持ち、自信を持って世界と渡り合える、グローバルな視点を持った市民がまちに溢れ、自らが進んで行動を起こす真の国際都市NAGOYAである「すべての人が夢に向

かつて躍動するまち名古屋」を創造する。

グローバルなNAGOYAの人財育成委員会方針

委員長予定者 野田 雄二郎

名古屋人が心の国境を乗り越えて世界の人々と対等に渡り合い、国際都市NAGOYAを世界へと発信し、世界に認知させるには、このまちの魅力や課題を世界的な視点から十分に理解して名古屋のために行動する、「グローバルな名古屋人」を育成する必要がある。

まずは、姉妹JCとは一層緊密な関係を、名古屋市の姉妹都市とは今後につながる新たな友好関係を、それぞれ構築するために、相互訪問やASPAC等の諸会議の場における対話を通じた国際交流を行う。そして、グローバルな名古屋人の具体像を描くために、国際交流活動の成果を踏まえつつ、世界各地の魅力と比較してもなお遜色ない名古屋の魅力について研究する。さらに、名古屋を代表して世界に羽ばたく若者を育成するために、市民にグローバルな人財の意義と必要性を発信しつつ、未来を担う名古屋の若者が海外の若者と各地の魅力をもとに切磋琢磨することで、実際にグローバルな名古屋人としての行動を体験できる人財育成プログラムを実施する。

グローバルな名古屋人へと成長した若者が、共感する市民と共に国際都市NAGOYAを世界に向け発信し続ける「すべての人が夢に向かって躍動するまち名古屋」を創造する。

NAGOYAのアントレプレナー発掘育成委員会方針

委員長予定者 横山 亮介

名古屋には高い志や夢を持った人財が豊富に存在しているにもかかわらず、閉鎖的な気質による後ろ向きな姿勢から世界の舞台で積極的にビジネス展開できていない。そこで、名古屋の課題を理解し、経済人として世界で活躍する起業家を発掘し育成する必要がある。

まずは、世界でも通用するビジネスモデルを構築するために、本来の日本型経営である公益資本主義と起業に対する市民の取組みを調査する。そして、名古屋の課題を把握し世界で戦える起業家を発掘するために、行政や専門家と連携し、NAGOYAから世界へ羽ばたく可能性を感じられる人財や、老若男女を問わず気概を持った人財から、それぞれのビジネスモデルを公募し、客観的な基準に基づいて審査する選考会を実施する。さらに、選考会にて選ばれたビジネスモデルを、公益資本主義の概念を強みに世界でも通用するビジネスモデルへと具現化する支援を行うために、世界で活躍する専門家を講師として招き、行政を巻き込み、人財育成事業を実施する。

NAGOYAから世界に羽ばたく起業家の活躍する姿に触発され、志高き市民が後に続き起業家が次々輩出される「すべての人が夢に向かって躍動するまち名古屋」を創造する。

【質実剛健な人財育成室方針】

室長予定者 落合 徹哉

悪しき利己主義の蔓延により自己中心的な考えを持つ人が増える一方で、社会的関心事を他人事として捉え、当事者意識を持ってない人が増えている。かつて、名古屋人は物事の本質を捉え、着実にこのまちを発展させてきた。国内外の社会情勢が激変する中で、我々は世の中の潮流に流されず、このまちをさらに発展させようとする強い意思に基づいて行動できる次代の名古屋を担うにふさわしい心身共にたくましい人財を育成する必要がある。

まずは、現代を生き抜く上で必要となるたくましい精神を市民に広めるために、武道・芸道を通じて礼儀や作法、自身と向き合う精神統一による「道」の精神の神髄を探求し、発信する例会を開催する。そして、次代の名古屋を担う子供たちが、長年地域社会と密接に関わってきたわんぱく相撲を通じて、相手を思いやる礼儀や美しい作法を重んじる心を培い、心身共にたくましく健やかに成長する大会を実現するために、地域と会員との円滑な意思調整を行うわんぱく相撲運営会議を運営する。さらに、いたずらに周囲の意見に惑わされることなく、何事をも自分事と捉え、当事者意識を持って行動できる人財を育成するために、社会システムに関する知識を備えると共に、自身と社会とのつながりをしっかりと理解し、問題意識に基づき正しい選択ができる人財を育成する成人教育の実践を発信する例会を開催する。また、これから社会に羽ばたこうとする名古屋人が能動的に社会で活躍するために、社

会生活に必要な不可欠となる社会制度に関する知識を伝えると共に、社会を支える一員としての意識を醸成する教育プログラムを構築し実践する事業を実施する。

日本の芸道や武道を通じ、礼儀や作法を重んじ、自身と向き合う精神統一により日本の精神性が養われると共に、社会の一員として育ち、自らの判断で名古屋を変える意識を持った質実剛健な名古屋人が「すべての人が夢に向かって躍動するまち名古屋」を創造する。

道の精神探求委員会方針

委員長予定者 西原 政熙

現代は多くの情報が身の回りに氾濫し、その情報を鵜呑みにした価値観に影響を受け、物事の本質を正しく認識することが難しくなっている。時代に流されることなく、自らの判断で物事を正しく選択することのできる心身共にたくましい人財を育成する必要がある。

まずは、時代に流されない人財の素養を明らかにするために、自分自身と向き合い、相手を思いやる礼儀・作法を重んじることを根幹とする「道」の精神を研究する。そして、次代を担う心身共にたくましい人財を育成するために、武道・芸道に触れる体験を通じて「道」の精神が現代に必要であると市民が改めて認識する機会を創出し、その素晴らしさを実感すると共に、「道」の精神の神髄を探求して発信する例会を開催する。さらに、長年地域に根ざしてきたわんぱく相撲を、将来を担う子供たちが礼儀・作法を通じて勝者・敗者がお互いに相手を思いやる心を培い、心身共にたくましい人財へと成長する大会とするために、わんぱく相撲運営会議を運営する。

価値観の変化に惑わされず、確たる自分を持った心身共にたくましい人財が相手を思いやり礼儀・作法を重んじる「すべての人が夢に向かって躍動するまち名古屋」を創造する。

新しい成人教育実践委員会方針

委員長予定者 木下 智靖

我々の生活は社会保障等の社会制度と密接に関わっているが、市民がその理念や内容を十分に理解できず生活との関わりを意識できていない。これからの社会を支える世代が、社会制度を深く理解し高い主権者意識を持って社会と関わる人財へと成長する必要がある。

まずは、市民がどのように社会制度と関わっているのかを把握するために、義務教育や官公庁の取り組みを調査する。そして、社会との関わり方を自ら考えて判断する能力を養う教育の必要性を市民に伝えるために、制度の理念や内容の理解に焦点を当てたモデル講義を通して、市民がどのように社会制度を学習すべきかというイメージを抱く例会を開催する。さらに、習得すべき学習項目を明確にし教育の質を向上させるために、本質の理解と思考に主眼をおいた制度ごとのカリキュラムを構築する。また、社会制度の問題を自ら考えて判断できる人財を育成するために、カリキュラムを用いて、制度の理念や内容を理解し課題を多角的に考察する事業を実施する。

主権者意識を持って主体的に判断する市民が社会に溢れて、より良い社会の実現に向け、能動的に社会に参画する「すべての人が夢に向かって躍動するまち名古屋」を創造する。

【躍動する名古屋創造室方針】

室長予定者 八木 俊行

名古屋は歴史と伝統がまちに息づくと共に、現在では先端技術が集積し工業分野に強みを有し、理数分野でノーベル賞受賞者を輩出してきた誇るべき実績を持つまちである。だが、市民は流通する情報に流されがちであり、まちの特色を深く認識した上で、自らの言葉でまちを語るできていない。市民がまちの成り立ちや現状への認識を深め、誇りを持って自らの言葉でまちの特色を内外へ語り、まちの求心力をさらに高める必要がある。

まずは、市民が名古屋の特色を共有するために、統計資料や地域住民の意見聴取に基づいてまちの成り立ちや現状を把握して分析した上で、地域特性に着目したブランディング手法を構築する事業を実施する。そして、市民が名古屋の姿をより正確に捉え自らの言葉でまちを語るために、まち全体を鳥瞰し、地域を探究し、過去と未来に目を向け多角的にまちを分析し、未だ知られていないまちの姿を発信する例会を開催する。さらに、市民が理数を含

む科学の楽しさに気づくために、市民に対し科学が身近な生活を支え未来を創造する事実や最先端技術の驚くべき可能性を伝え、理数への探究心を育む事業を実施する。また、名古屋が理数分野での世界的な競争力を支える人材を輩出し続けるまちへ進化するために、市民が産学官と連携して現代社会における科学の重要性並びに可能性を認識し、世界を舞台に躍動する理数都市NAGOYAの未来を共有する例会を開催する。そして、まちのさらなる活性化のために、地域の歴史的背景や特色といった既存の要素を融合して新たな魅力へと昇華した近未来のまちの姿を具体化し、市民に進路を示す例会を開催する。

誇るべき歴史と伝統に加え、理数都市としての側面に支えられた現在の名古屋の魅力が明確化し、まちのブランディングが確かなものとなり、市民がまちの未来を自分事と捉え、その実現に向け行動する「すべての人が夢に向かって躍動するまち名古屋」を創造する。

リアルな名古屋探究構築委員会方針

委員長予定者 桑田 正和

名古屋は歴史や伝統が息づく多くの誇るべき特色を備えたまちである。市民は、狭い視野や思い込みに基づきまちを語りがちな現状から脱却し、まちを多角的に捉え、根拠に基づく理解を深めて誇りを持ち、浮き彫りとなったまちの実像を内外へ発信する必要がある。

まずは、名古屋の各地域の特色を把握するために、統計のみならず市民や行政からの聞き取りによって市内16区ごとの地域に根ざした情報を収集する。そして、市民がまちへの理解を深めるために、調査研究で得られた情報を分析してデータベース化し、市民と共有する事業を実施する。さらに、自らの言葉で名古屋を語る市民を増やすために、事業で得た知見に基づき、市民に対し、未だ知られていない名古屋の姿に焦点を当てまちの可能性と共に発信する例会を開催する。また、まちのさらなる活性化のために、地域の歴史的背景や特色といった既存の要素を融合して新たな魅力へと昇華した近未来のまちの姿を具体化し、市民に進路を示す例会を開催する。

明確な根拠に基づきまちの実像を認識した市民が、自らの言葉でまちを語り、思い描いた未来に向かって行動する「すべての人が夢に向かって躍動するまち名古屋」を創造する。

理数都市NAGOYA創造委員会方針

委員長予定者 平手 康司

名古屋は先端技術が集積し工業分野に強みがあり、複数の理数系教育機関を有するまちである。親の理数離れが子供に悪影響を及ぼしかねない現状を踏まえ、市民はまちの強みを支える理数の重要性を共有し、まちを世界で躍動する理数都市へ進化させる必要がある。

まずは、理数離れの実態を把握するために、文献・統計を調査した上で市民への聞き取りを行う。そして、市民が理数を含めた科学の楽しさや必要性に気づくために、市民に対し、科学と日常生活の関係性や、理数分野への知的好奇心を刺激する事業を実施する。さらに、名古屋が理数に強い人材を輩出し続けるために、経験に裏打ちされた産学官の知見に基づき、理数の強みを活かして世界で躍動する名古屋へ内外から理数系人材が集まる近未来図を市民に示す例会を開催する。また、まちのさらなる活性化のために、地域の歴史的背景や特色といった既存の要素を融合して新たな魅力へと昇華した近未来のまちの姿を具体化し、市民に進路を示す例会を開催する。

科学の魅力を共有した市民がまちを支える次代の理数系人材を輩出し続け、名古屋が生え抜きの理数都市へ進化し「すべての人が夢に向かって躍動するまち名古屋」を創造する。

【名古屋観光開発特別委員会方針】

特別委員長予定者 高橋 雅大

名古屋はものづくりをはじめ工業分野で強みがあるが、観光分野にさらなる発展の余地がある。まちに人やモノを呼び込めば、経済力を高め、さらにまちを活性化できる。市民と共にまちの特色を観光資源として活用し、名古屋を観光都市として周知する必要がある。

まずは、市民が魅力を表面でしか捉えていない名古屋の観光資源を把握するために、このまちの強みや魅力を調

査・研究し問題提起する。そして、観光都市名古屋を確立するために、他地域から名古屋への来訪者を増加させ、長い歴史を誇るこのまち独自の文化・商業・工業のみならず、恵まれた地の利を活かした観光開発を行い、多面的にブランディングし、その魅力的な観光資源を市民に向けて発信することで市民が新たな観光の柱を創造し誇りにつなげる事業を実施する。さらに、まちのさらなる活性化のために、地域の歴史的背景や特色といった既存の要素を融合して新たな魅力へと昇華した近未来のまちの姿を具体化し、市民に進路を示す例会を開催する。

市民が工業と観光が両輪として共存するまちの姿に心躍らせ、郷土愛と誇りを深め、観光都市確立に向け行動する「すべての人が夢に向かって躍動するまち名古屋」を創造する。

【総務室方針】

室長予定者 春名 潤也

名古屋青年会議所は、先達が紡いできた伝統と誇りを胸に、会員一人ひとりが明確な目的・目標を持って活動し、市民の共感を得て市民意識変革運動を推し進め、社会に貢献し続ける価値ある団体でなければならない。そこで、運動の担い手である会員の想いを一つにすることができる規律と品格を伴った確固たる運営基盤を築くと共に、当事者意識溢れる会員の情熱を市民に伝播させ運動の価値を最大化できるよう情報発信を行う必要がある。

まずは、個々の会員が持つ崇高な志を運動へ反映させ、事業・例会の成功する確度を限界まで高めるために、総務・財務・運動発信の各面から支援する。そして、公益社団法人格を維持し、市民と社会の信頼の下で運動を行うために、公益性を検証し、透明性を持った予算立案・決算を行うと共に、法令と定款諸規程の遵守を徹底した運営を行う。さらに、会員の英知を結集させた議論を交わすために、諸会議を厳粛かつ円滑に設営・進行する。また、会員の規律と品格を堅持するために、出席規程の厳格な運用を行うと共に、会員資質の向上を図る事業を実施する。そして、本年度の方向性を会員が共有し、諸団体との協力関係を確認するために、内外へ本年度の運動方針を発信する新年賀詞交歓会を厳かに開催する。さらに、1年間の運動を総括し次年度へ想いをつなぐために、敬意と称賛を含めた12月例会を開催する。また、運動への市民参画を幅広く促すために、メディアとの連携や各種媒体を用いた情報発信を行う。そして、市民と協働する団体として真価を発揮するために、市民が青年会議所の存在を認知し運動に共感するブランディングを確立する。

名古屋のまちを想い続けてきた伝統ある組織を誇り高く支えて、市民の共感を得る運動発信を構築する源となり、会員の情熱を運動へと展開し、会員と市民が共に、名古屋の次代を切り拓こうと歩み出し「すべての人が夢に向かって躍動するまち名古屋」を創造する。

総務委員会方針

委員長予定者 齋藤 亮治

名古屋青年会議所は、常に高い志と熱い情熱を併せ持ち、市民の意識を変革し続ける団体でなければならない。我々は、先達から引き継いできた気概と誇りをもち、次世代へと継承し続けることができるよう、規律を守り厳格な運営によって組織を支える必要がある。

まずは、本質に迫る議論を促すために、議案書の作成指導・助言を行い定款諸規程に則った厳格な諸会議の運営を行う。そして、会員が適切に運動を構築するために、議案書の受領を確実にし、事務局と連携して基本資料や対内外文書の管理を行うと共に、堅実な組織運営を実行する。さらに、本年度の方針に対する全会員の意識統一を図ると共に、関係諸団体からの理解と共感を得るために、名古屋青年会議所の運動方針を発信する場として厳かな1月例会を開催する。また、会員資質を堅持するために、委員会・例会の出席率調査を行い、条件に満たない会員に対しては注意書を送付すると共に、各委員会と連携して注意喚起し青年会議所活動への参加を促す。

規律を遵守した組織運営が会員一人ひとりの気概と誇りを醸成し、その会員が市民の意識を変革する運動を展開し「すべての人が夢に向かって躍動するまち名古屋」を創造する。

財務委員会方針

委員長予定者 安田 伸志

名古屋青年会議所は、市民意識変革を掲げて運動を展開する高い志と情熱を持った集団である。その脈々と受け継いできた伝統を守りながら、公正かつ適正な予算執行のもと、会員の力を最大限に引き出した運動を健全に展開できる堅実な組織運営を行う必要がある。

まずは、公益性を保つために、公益目的事業比率を遵守した運営を実施しているか検証する。そして、公正かつ強固な基盤を作るために、収支予算案の立案補佐・決算を行い、予算準拠主義に基づいた資金管理とコンプライアンスを遵守した組織運営をする。さらに、活発な議論の上で運動を健全に展開するために、妥協なき予算書作成指導と議案審査を実施すると共に、円滑な諸会議の運営・補佐を行う。また、規律を備えた会員が地域リーダーとして躍動するために、会員資質を向上させる事業を実施する。そして、1年間の運動を振り返ると共に、受け継いできた精神を次代へ引き継ぐために、会員が成果を分かち合い、お互いを労い称え合う例会を開催する。

公正かつ適正な予算執行による組織運営のもと、規律を重んじた会員の健全な運動が市民に意識変革をもたらし、「すべての人が夢に向かって躍動するまち名古屋」を創造する。

J C運動発信委員会方針

委員長予定者 一之瀬 修

我々は市民意識変革運動を行う崇高な団体であり、我々の運動に対して共感を得て、市民を巻き込んでいかなければならない。市民にとっての青年会議所の存在価値を高め、ブランディングを確立すると共に、情報発信を運動に対する市民参画につなげる必要がある。

まずは、名古屋青年会議所のプレゼンスを市民の中で高めるために、我々の組織イメージを市民が明確に抱くことができ、市民からの信頼をも獲得する情報発信を、様々な媒体・ツールにて行う。そして、運動に対する市民の参画意識を高めるために、市民のニーズを的確に掴んだ対外広報活動を行うと共に、告知媒体の特性を活かした情報発信を行う。さらに、多くの市民の共感を得るために、行政との連携窓口となると共に、より効果的な広報計画を提案して、例会・事業への市民参画を高める支援を議案審査で行う。また、報道を通じた運動発信の機会を創出するために、我々の運動をマスメディアが取り上げやすい形にして発信をするプレスリリースを行う。

名古屋青年会議所の存在価値が高まり、多くの市民が当事者意識を持って我々と共にまちを変革しようと歩み出し「すべての人が夢に向かって躍動するまち名古屋」を創造する。